IR

We love "TATEMONO"

株式会社マサル

「建築市場の変化を、私たちは成長の起点にする」

～専門工事会社グループとしての役割を果たす～

代表取締役社長　勝又 健

1992年8月、当社入社。2015年12月、取締役。2016年12月、第1営業部長兼たてもの改装部担当兼経営戦略室長。2017年6月たてもの改装部担当兼経営戦略室長。2018年11月、社長室長兼経営企画室長兼経営戦略室長兼たてもの改装部担当。2018年12月、塩谷商会（現マサルファシリティーズ）取締役。2020年12月、当社代表取締役社長（現任）。2021年9月、マサルファシリティーズ取締役現任）。2025年12月、空気設備工業取締役（現任）。

株式会社マサルは創業時から、新築高層ビルの外壁防水等を中心に事業を展開し、技術力や品質、現場力を磨いてきました。近年では、既設建築物を対象とした改修事業の売上が全体の半分を超え、マサルの事業領域の重心は確実に変化しています。

建築市場がスクラップアンドビルドからストック活用へと移行していく中で、差別化された改修工事や設備更新工事の事業は中長期的な成長の起点になると考えています。高度な知見と経験を必要とする改修工事は、これまで培ってきた力を活かしながら、新しい価値提供に挑戦できる事業領域です。新築工事で積み上げてきた施工技術や品質管理のノウハウ、お客様との信頼関係は、既設建築物を扱う改修工事においても大きな強みになっています。

一方で、建設業界を取り巻く環境は大きく変化しています。人手不足の深刻化や資材価格の上昇など、事業環境は決して容易なものではありません。こうした環境の中にあっても、当社は専門工事会社として培ってきた技術力と施工力を基盤に、着実に事業を積み重ねていくことが何より重要だと考えています。

また、改修工事や設備更新工事において私たちが重視しているのは、グループとしての総合力です。専門性の異なる会社が連携することで、従来の工事の枠にとらわれない対応が可能になります。案件ごとに最適な施工体制を組み、品質と安全を確実に守りながら、工期やコスト面でも柔軟に対応できる点は、私たちの競争力の源泉と考えています。

また、長年現場を支えてきた当社や協力会社のシニア・グランドシニアの皆さんの経験や技術と、若手の皆さんの新しい視点や発想を融合させることも欠かせません。世代を超えた連携が、新しい分野や仕事の進め方に挑戦する土台になっています。

＊　＊　＊

今回の連載を通じて、当社の事業展開、技術開発や人材育成への取り組みについて皆様に少しでもご理解頂けたら幸いです。これからもお客様のご要望にお応えする仕事を着実に積み重ね、社会に必要とされる専門工事会社グループとしての役割を果たし、企業としての価値を高めてまいります。